

各取組項目達成指標等取りまとめシート（点検評価書からの抜粋）

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標数値	成果指標の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の達成度	進捗状況
<b>川崎病院</b>								
① 救命救急医療の充実	資料1-5 1~2	①救命救急センターの安定的な運営及び体制強化に向けた救急医及び救急救命士の安定的な確保 ②川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力 ③救命救急センター厚労省評価基準S級の維持	三次救急搬送患者応需率	R1実績値 97.4%	3	・三次救急搬送患者応需率は、コロナ受入体制確保のために救命救急センター病棟の一部又は全部をコロナ専用病床としたことなどにより、目標を達成できませんでした。 ・救急自動車搬送受入台数は、同様の理由により目標を達成できませんでした。が、新型コロナウイルス感染症の影響などにより市内全体の救急搬送件数が減少する中で、前年度と同程度の受入台数を達成することができました。 ・地域の医療機関に向けて緊急の消化器疾患に対応するため「腹急ホットライン」を開設しました。また、昨年開設した「コロナリーホットライン」については、救急隊からの受入に続き、地域の医療機関からの受入を開始しました。 ・救急医、救急救命士の確保のため、救命救急センターのホームページで医師の募集を行い、救急医は1人、救急救命士は2人採用しました。 ・川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力について、救命救急センター所長は川崎市メディカルコントロール協議会の実質的企画を検討する役割を市長より付与された部会長であり、救命救急士の業務に関する多くの課題に取組みました。 ・厚生労働省救命救急センター充実度段階評価について、救急薬剤師の配置などに取り組んだ結果、本制度発足から3年連続S級の救命救急センターとして評価されました。 ・救命救急センターの医師が令和2年度と比較して減少しており、医師を安定的に確保できる運用方法を検討していきます。	C ほぼ目標とあり	II. 一定の進捗がある
				R2目標値 98.2%以上				
				R2実績値 95.5%				
			救急自動車搬送受入台数	R1実績値 5,819件	5			
				R2目標値 7,332件				
				R2実績値 5,802件				
② 災害医療機能の維持	資料1-5 3~4	①派遣要請対応 ②各種訓練実施・参加 ③DMAT隊員の養成 ④患者に合わせた備蓄食料の拡充 ⑤災害時対応機能の拡充	災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率	R1実績値 100.0%	1	・災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率については、神奈川県及び川崎市の要請により県及び市の新型コロナウイルス感染症対策本部へ職員を派遣し、クラスターが発生した病院の患者搬送の調整等、本部業務を支援しました。 ・DMAT隊員養成研修は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で中止となりました。 ・新型コロナウイルス感染症対策として今年度はエマルゴ方式にて院内訓練を実施しました。今後も各種訓練（政府訓練、市総合防災訓練など）に参加するなど、隊員の技能維持・向上を努めるとともに新たな隊員養成を行います。 ・備蓄用飲料水及び食品は消費期限に応じて入れ換えを行うとともに、患者さんの状態に応じた摂取しやすい食材への変更も進めています。 ・今後も継続して隊員の技能維持、養成、備蓄の強化に努めていきます。	B 目標を上回って達成	
				R2目標値 90.0%以上				
				R2実績値 100.0%				
			食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	R1実績値 3日間分	3			
				R2目標値 3日間分				
				R2実績値 3日間分				
<b>井田病院</b>								
① 救急医療（初期・二次）の強化	資料1-6 1~2	①川崎病院との連携による平日日勤帯の救急受入体制強化 ②職員の意識啓発に努め、救急搬送及びウォークイン患者の非応需率低下に向けた取組の推進 ③救急医療における院内トリアージの強化 ④事務職を含む全職員を対象とした一次救命処置技術習得への取組の推進	救急自動車搬送受入台数	R1実績値 2,406件	5	・救急自動車搬送受入台数は、2,193件と大幅に減少しました。日勤帯や準夜帯の医師の体制を強化しましたが、発熱外来や新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院に、ERと救急後方病床を用いたことにより、救急車の受入れを制限したことが大きく影響していると考えられます。 ・当直における課題点は、救急医療運営委員会内に当直検討部会を設置して検討し、徒歩受診患者や問い合わせ患者への対応能力の向上につなげました。 ・川崎病院との連携により、平日日勤帯及び準夜帯に救急医を配置し、迅速なコンサルテーションを実施できるような体制を整え、井田病院から川崎病院への高次搬送を強化しました。これにより、重症度や傷病の種類による対応困難事例の非応需を減らしました。 ・引き続き川崎病院との連携をすすめ、救急医療体制の確保に努めます。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、院内での講習会は実施できませんでした。が、コールワン・院内講習会ワーキンググループを中心にいけいれん発作時の対応マニュアルを作成し、職員の技術力向上に努めました。	D 目標を下回った	III. 進捗が遅れている
				R2目標値 3,500件以上				
				R2実績値 2,193件				
			救急患者数	R1実績値 6,845人	5			
				R2目標値 9,200人以上				
				R2実績値 7,253人				
② 災害医療機能の維持	資料1-6 3~4	①災害協力病院として災害医療対応能力の更なる向上と全職員の役割発揮を図るための災害医療訓練の実施 ②災害用備蓄品の計画的な入れ替えの実施 ③災害発生時の医療強化に向けたDMAT-L隊員の育成	災害拠点病院と連携した災害訓練の実施	R1実績値 実施	3	・新型コロナウイルス感染症の影響で大規模な訓練の実施はできていませんが、県・市内医療機関での通信訓練に参加したほか、災害時医療等委員会内でコロナ禍における災害医療対応机上訓練を実施し、対応について協議を行いました。 ・備蓄用飲料水及び食品は、消費期限に応じて適宜入れ換えを行い、常時3日間分を確保しています。 ・神奈川DMAT-L隊員養成研修については新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていますが、再開され次第、推薦者を派遣する予定です。 ・今後も災害時運営委員会を中心に、関係部署や医療機関などと連携しながら、訓練の実施、備蓄の強化、隊員の育成を継続して行っていきます。	C ほぼ目標とあり	
				R2目標値 実施（毎年）				
				R2実績値 実施				
			食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	R1実績値 3日間分	3			
				R2目標値 3日間分				
				R2実績値 3日間分				

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況	
<b>多摩病院</b>									
① 救急医療 (一次(初期)・二次) の安定的な提供	資料1-7 1~2	①救急専門医、小児科医の安定的な確保 ②川崎市二次救急輪番制への参加	救急自動車搬送 受入台数	R1実績値	5,727件	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標の未達成の要因として、今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受入れ医療機関として対応しており、年度後半には、院内でのクラスター発生、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請等があったことによる影響が大きいと考えられます。</li> <li>24時間365日の救急医療と小児2次輪番救急医療の提供を続けていますが、新型コロナウイルス感染症の流行や、緊急事態宣言発出による外出自粛等もあり、救急自動車搬送受入台数は、前年度を2,149件、目標値を622件、それぞれ下回り、同様に救急患者数も前年度を5,436人、目標値を5,180人、それぞれ下回る結果となったため、達成度を「E」としました。</li> <li>救急専門医は前年度比で1名増加、小児科医は前年度同様となりました。</li> <li>今後も、救急自動車搬送受入台数の確保及び救急患者数の受入れ確保を積極的に実施していきます。</li> </ul>	E 目標を大きく下 回った	III. 進捗が遅 れている
				R2目標値	4,200件以上				
				R2実績値	3,578件				
			救急患者数	R1実績値	13,256人	5			
				R2目標値	13,000人以上				
				R2実績値	7,820人				
② 災害医療 機能の維持	資料1-7 3~4	①災害派遣医療チームの隊員の増員 ②災害訓練の実施 ③備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な 補充・交換	DMAT隊員 養成研修 修了者数	R1実績値	15人	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>DMAT隊員養成研修修了者数が目標値を上回りましたので、達成度は「B」としました。</li> <li>備蓄品については有効期限を確認し適時補充・交換を行っています。</li> <li>前年度比で災害派遣医療チームの隊員は4名減少となりました。</li> <li>災害訓練(10月)はコロナ禍での開催となり、規模を縮小した机上訓練としました。テーマを洪水時の水害対策とし、約80名が参加しました。完成した水害対策マニュアルを基に病院執行部や各部署の動きを検証し、災害に対する意識向上や再確認を続け、今後の活動に活かしていきます。</li> <li>川崎市健康福祉局主催の災害時病院連携訓練(8月)を実施しました、想定シナリオによるEMIS入力訓練、川崎市MCS無線機を使用した通信訓練を行い、小規模ながら実践に備えた訓練となりました。</li> <li>例年、年初に実施している多摩消防署との合同消防訓練は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。</li> <li>今後も、災害派遣医療チームの隊員の増員、災害訓練・消防訓練の実施、備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換を実施していきます。</li> </ul>	B 目標を上 回って達 成	
				R2目標値	8人				
				R2実績値	11人				
			食料・飲料水・ 医薬品の院内 備蓄確保量	R1実績値	3日間分	3			
				R2目標値	3日間分				
				R2実績値	3日間分				

## 取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
<b>川崎病院</b>									
○ がん診療 機能の強化	資料1-5 5~6	①神奈川県がん診療連携指定病院の継続 ②がん診療の充実・強化及び関係医療機関との連携・推進 ③PET-CTの運用	がん登録数	R1実績値	1,650件	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域がん診療連携バスの連携先を増やし、地域と連携したがん診療体制を充実させました。また、総合がんセンターボードを開催して多職種参加を促し、院内のがん診療の推進に努めました。</li> <li>・がん診療に関する連携の推進、PET-CTの運用促進のため、広報資料を作成するとともに、医療機関訪問を積極的に行いました。今後も、これらの活動を継続し、がん診療の機能強化に努めていきます。</li> <li>・がん手術件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で予定手術の抑制をしていましたが、昨年度を上回る件数を実施できました。</li> </ul>	B 目標を上 回って達 成	I. 順調に進 捗
				R2目標値	1,350件以上				
				R2実績値	1,710件				
			神奈川県がん 診療連携指定 病院の指定	R1実績値	維持	3			
				R2目標値	29年度指定				
				R2実績値	維持				
			がん手術件数	R1実績値	1,041件	4			
				R2目標値	1,160件以上				
				R2実績値	1,091件				
<b>井田病院</b>									
① 地域がん 診療連携拠点 病院としての 機能強化	資料1-6 5~6	①対策型検診と任意型検診の受診促進に向けた活動と受入調整 ②県内のがん拠点病院で構成する協議会、部会に出席・情報交換 ③がんサロン、ピアサポート、患者力を考える会等の実施	がん登録数	R1実績値	1,343件	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん登録の予後判明率の向上のため、住民票照会による予後調査を実施しました。</li> <li>・国の指針変更に伴う川崎市胃がん検診制度の見直しにより、内視鏡検診は平成30年4月から40歳以上を対象に2年に1度となりました。このため内視鏡検査件数は減少しています。また、令和2年4月からは50歳以上を対象に2年に1度となることから、今後も減少が見込まれるため、引き続き、市民公開講座や出前講座等による啓発活動に積極的に取り組みます。</li> <li>・神奈川県がん診療連携協議会（7月・3月）及び薬物療法部会（3月）・相談支援部会（9月・11月・2月）にオンライン会議で出席し、県内のがん診療連携拠点病院と情報を共有しました。</li> <li>・がん手術件数については目標を大幅に下回りましたが、地域がん診療連携拠点病院の指定要件である年間400件以上は達成しました。</li> <li>・患者やその家族をサポートするプログラムとして、患者の悩みや不安を自由に話せる「がんサロン」や当事者がお話をお聴きする「ピアサポート」、乳がん患者を対象とした「ピンクリボンサークル」等を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために開催を控えました。そのため、電話や面談を通じた相談支援を強化し、ピンクリボンサークルについては、サークル通信（月1回）の発行を通じて患者同士のつながりを維持しました。今後は各種プログラムについて、集合開催以外の方法を検討します。</li> </ul>	D 目標を下 回った	IV. 進捗が大 幅に遅れ ている
				R2目標値	1,300件以上				
				R2実績値	1,445件				
			内視鏡検査件数	R1実績値	6,522件	5			
				R2目標値	7,700件以上				
				R2実績値	5,259件				
			内視鏡治療件数	R1実績値	758件	5			
				R2目標値	720件以上				
				R2実績値	508件				
			がん手術件数	R1実績値	573件	5			
				R2目標値	600件以上				
				R2実績値	469件				
② 緩和ケア の推進	資料1-6 7~8	①緩和ケア科の医師を確保し、緩和ケアの外 来、入院、在宅、救急ニーズへの適切な対応 ②緩和ケア科の初診を円滑に受けられるよう 調整 ③在宅緩和ケアの積極的実施・充実強化 ④地域医療従事者を対象に緩和ケア研修会を 開催し、緩和ケアの普及・啓発の実施	緩和ケア患者の 受入人数	R1実績値	538人	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア内科の医師の確保が厳しい中で、医療の質を落とすことなく継続し、外来・入院・在宅・救急ニーズに院内全体で取り組んでいます。</li> <li>・緩和ケア内科の初診の枠を増やし、緩和ケア相談を積極的に受け入れました。緩和ケア研修会はeラーニング受講が可能となり、ワークショップ中心の研修会を開催しました。今後は、「緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会」を隔月で開催し、近隣地域医療従事者や当院職員との意見交換や交流をさらに推進していきます。</li> <li>・医療密度の高い患者には、在宅診療・訪問看護を行っています。特に近隣医療機関・訪問看護ステーションとの機能別の役割を重視して取り組んでいます。</li> </ul>	E 目標を大 きく下 回った	
				R2目標値	552人以上				
				R2実績値	489人				
			訪問診療件数	R1実績値	1,072件	5			
				R2目標値	1,700件以上				
				R2実績値	1,212件				
<b>多摩病院</b>									
○ 診療機能 強化と報告の 推進	資料1-7 5~6	①化学療法の積極的な実施 ②「地域がん登録」、「全国がん登録」への 参加	がん登録数	R1実績値	522件	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん登録数は、前年度比で88件増加したものの、目標値を大きく下回りました。一方、がん手術件数は、前年度比で26件減少となる反面、目標値を22件上回っています。</li> <li>・化学療法件数は、前年度を309件、目標値を384件、それぞれ上回っています。腫瘍内科医師の交代もあり、前年度は一昨年度実績を下回ったものの、今年度は増加傾向となりました。</li> <li>・結果、がん手術件数は目標値を上回り、化学療法の件数も増加しましたが、がん登録数は目標値に比べ大幅な減少であったため、達成度は「D」としました。</li> <li>・今後は、化学療法の積極的な実施、「地域がん登録」及び「全国がん登録」への参加を継続していきます。</li> </ul>	D 目標を下 回った	III. 進捗が遅 れている
				R2目標値	850件以上				
				R2実績値	610件				
			がん手術件数	R1実績値	398件	2			
				R2目標値	350件以上				
				R2実績値	372件				

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
<b>川崎病院</b>								
① 小児・周産期医療の確保	資料1-5 7~8	①近隣の周産期医療機関との協力体制の強化 ②周産期・小児医療サービスの向上 ③周産期メンタルヘルスケアの充実	周産期救急搬送患者受入件数	R1実績値	77件	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>周産期救急患者受入数は、目標には至りませんでした。周産期医療に携わる医師を安定的に確保できた結果、産科の周産期救急患者の応需率は88%（昨年度65%）に上昇し、地域の周産期救急ニーズに応えました。今後も近隣周産期医療施設との連携を維持する方針です。</li> <li>NICU及びGCUにおける新規入院患者数は減少しました。今後分娩件数の大きな増加が見込まれないことが課題です。</li> <li>周産期メンタルヘルスケアの充実について、全ての妊婦に外来、退院前、産後1か月健診の3回のスクリーニングを行い、出産後の母親が産後うつ傾向にある場合は、助産師が積極的に連絡を取って病状を確認し、必要に応じて産後2週間以内に外来を受診するよう案内しています。また、ケアマネージャーや専門機関へ情報共有するなど、関係機関との連携も積極的に行っています。</li> </ul>	E 目標を大きく下回った
				R2目標値	130件以上			
				R2実績値	49件			
			NICU及びGCUにおける新規入院患者数	R1実績値	282人	5		
				R2目標値	332人以上			
				R2実績値	192人			
			分娩件数	R1実績値	923件	5		
				R2目標値	1,065件以上			
				R2実績値	737件			
② 内視鏡検査・治療の充実	資料1-5 9~10	①地域医療機関からの検査依頼受入れの拡充 ②内視鏡検査異常所見を認めた患者への適切な処置及び経過観察 ③膵・肝胆内視鏡検査の正確な診断と適切な治療の実施	内視鏡検査件数	R1実績値	8,113件	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>内視鏡検査件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で今年度前半に大幅に減少し、今年度後半も緊急事態宣言の再発令があったため、最終的に大きく目標値を下回りました。しかし、内視鏡治療の実施件数については、今年度後半に徐々に回復し、ほぼ目標値近くまで戻しました。</li> <li>胃がん検診の制度が変わり、令和2年度から大幅に検診件数の減少が予想されたため、内視鏡検査の必要性を地域に啓発していく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、クリニック訪問を控えることになり、効果的な啓発活動ができませんでした。今後は、内視鏡センターのホームページのさらなる充実を図り、啓発に努めていきます。</li> </ul>	D 目標を下回った
				R2目標値	8,100件以上			
				R2実績値	6,944件			
			内視鏡治療件数	R1実績値	1,251件	3		
				R2目標値	1,110件以上			
				R2実績値	1,075件			
③ チーム医療の推進	資料1-5 11~12	①栄養サポートチームによる効率的な栄養管理の実施 ②栄養サポートチーム専任者育成のための認定研修会への参加推進 ③病院職員を対象としたNST研修会の実施 ④呼吸サポートチーム、認知症ケアチーム、褥瘡対策チームによる回診、カンファレンスの実施 ⑤緩和ケア提供のための継続的な体制整備及び患者総合サポートセンターとの連携強化 ⑥病棟薬剤師の配置病棟の拡充	栄養サポートチーム回診延べ患者数	R1実績値	1,780人	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養サポートチーム回診は新型コロナウイルス感染症の影響で入院患者が減少したため、前年度より患者数が減少しました。10月より栄養サポートチームと摂食嚥下支援チームに分け、問題点を明確化し、効率的な栄養管理を行っています。今後は専任者研修への職員の参加を推進し、スタッフ育成にも努めていきます。</li> <li>NST研修会について、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士が交代で講師を担当し、今年度は3回開催しました。今後も研修会の開催を通じて職員の知識の醸成を図っていきます。</li> <li>呼吸サポートチームについては、呼吸器設定等の適切な指導、管理を行うため毎週回診を行いました。今後も活動を通じて、早期抜管、早期退院に貢献していきます。</li> <li>褥瘡対策チームについては、医師、褥瘡専従看護師で毎週回診を行い、褥瘡患者のケア、介護者への指導、情報提供を行いました。また、新設された褥瘡ハイリスク患者ケア加算の届出を新たに行い、869件の評価を実施しました。</li> <li>認知症ケアチームについては、もの忘れ外来の開設に向けて、院内の多職種の職員と連携・調整しました。また、認知症疾患医療センター設立に向けて、院内及び健康福祉局の担当部署と連携・調整を行いました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で緩和ケアを必要とする入院患者が減少したことにより、緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数は昨年度より減少しました。患者に対しては多職種による週1回の病棟ラウンドに加え、専従看護師による病棟及びベッドサイド訪問を毎日実施しています。今後も緩和ケアチームスタッフの育成を継続し、緩和ケアの質の向上に努めていきます。</li> <li>病棟薬剤師の配置については昨年より1人増え、3病棟に配置しています。また、救命救急センターに薬剤師の派遣を開始しました。</li> </ul>	E 目標を大きく下回った
				R2目標値	1,800人以上			
				R2実績値	1,661人			
			緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	R1実績値	173人	5		
				R2目標値	250人以上			
				R2実績値	116人			

IV.  
進捗が大幅に遅れている

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
<b>井田病院</b>									
① チーム医療の推進	資料1-6 9~10	①緩和ケアチームによる症状緩和、カウンセリングなどの総合的な支援の実施 ②緩和ケアの研修及び教育の実施 ③神奈川県がん診療連携協議会・緩和ケア部会、学会などへの参加及び協力 ④緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チームによる定例介入の実施 ⑤NST専従、専任者研修をはじめとしたスタッフの充実、研修及び教育	緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	R1実績値	536人	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケアチームは1日平均20名前後のがん患者の症状緩和、全人的苦痛に対して支援を実施しました。緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会を実施するとともに、がん診療連携協議会緩和ケア部会では、緩和ケアチームの活動内容の報告と今後の課題を共有しました。</li> <li>今年度は緩和ケア研修会を1回、緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会を4回実施しました。</li> <li>栄養サポートチームでは、専従者交代に伴い、実績値については現状維持となりましたが、チーム活動においては、定例で症例報告、検討を行うとともに、摂食嚥下支援チームを立ち上げ、資質向上、早期介入に努めました。またNST臨床研修が当院で履修可能となりました。</li> <li>今後とも緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チームが連携し、積極的に介入を行っていきます。</li> </ul>	C ほぼ目標どおり	I 順調に進捗
				R2目標値	450人以上				
				R2実績値	429人				
			栄養サポートチーム回診延べ患者数	R1実績値	1,060人	5			
				R2目標値	1,300人以上				
				R2実績値	1,090人				
			褥瘡院内発生件数	R1実績値	86件	1			
				R2目標値	115件以下				
				R2実績値	59件				
② 成人疾患医療の充実	資料1-6 11~12	①成人疾患医療の着実な実施 ②認定看護師を中心とした外来からの生活指導と療養支援の強化（禁煙外来・フットケア外来・在宅酸素外来など）	糖尿病教育入院実患者数	R1実績値	35人	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病教育入院では1週間及び2週間の2種類のコースを行っています。糖尿病に関する知識の習得や糖尿病食を経験していただくほか、眼科や歯科受診をはじめ全身の検査も行っています。</li> <li>医師の配置に伴い、外科にヘルニア外来を設置しました。</li> <li>専門外来では、患者の医療ニーズに合わせた支援を行うとともに、患者一人一人に寄り添った診察となるよう配慮しています。</li> </ul>	A 目標を大きく上回って達成	
				R2目標値	30人以上				
				R2実績値	35人				
			専門外来の設置数	R1実績値	24	1			
				R2目標値	23				
				R2実績値	28				
<b>多摩病院</b>									
① 循環器内科における診療の充実	資料1-7 7~8	①循環器内科医の安定的な確保 ②心疾患領域における短期入院診療の充実	心臓血管系造影件数	R1実績値	668件	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標の未達成の要因として、今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受入れ医療機関として対応しており、年度後半には、院内でのクラスター発生、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請等があったことによる影響が大きいと考えられます。</li> <li>循環器内科医は、前年度から1人減り、目標値と比べて2人確保できませんでした。心臓血管系造影件数は前年度を162件、目標値を234件、それぞれ下回りました。</li> <li>心疾患領域における短期入院診療は148件と、目標値を92件下回り、入院延患者数が4,326人（前年度比1,786人減）、外来延患者数も10,026人（前年度比979人減）となりました。</li> <li>結果、心臓血管系造影件数、循環器内科入院・外来延患者数ともに目標値を下回りましたので、達成度は「E」としました。</li> <li>今後も、循環器内科医の安定的な確保、心疾患領域における短期入院診療の充実に努めていきます。</li> </ul>	E 目標を大きく下回った	IV. 進捗が大幅に遅れている
				R2目標値	740件以上				
				R2実績値	506件				
			循環器内科入院・外来延患者数	R1実績値	17,117人	5			
				R2目標値	19,800人以上				
				R2実績値	14,352人				
② 脳神経外科における診療の充実	資料1-7 9~10	①脳神経外科医の安定的な確保 ②血栓溶解療法（t-PA治療）の実施 ③専門外来の継続	脳血管系造影件数	R1実績値	70件	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標の未達成の要因として、今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受入れ医療機関として対応しており、年度後半には、院内でのクラスター発生、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請等があったことによる影響が大きいと考えられます。</li> <li>脳血管系造影件数は前年度を9件下回りました。</li> <li>延患者数も、入院が6,465人（前年比1,973人減）、外来が4,844人（前年度比221人減）にとどまりました。</li> <li>血栓溶解療法（t-PA治療）は、今年度も10件の実施と、前年度実績同様となりました。</li> <li>結果、脳血管系造影件数、及び脳神経外科入院・外来延患者数が目標値を下回ったため、達成度は「E」としました。</li> <li>脳神経外科医師数は前年度実績と同様となりました。また、神経内科と協力して当直体制を構築しています。</li> <li>今後も、脳神経外科における診療の充実を推進していきます。</li> </ul>	E 目標を大きく下回った	
				R2目標値	220件以上				
				R2実績値	61件				
			脳神経外科入院・外来延患者数	R1実績値	13,503人	5			
				R2目標値	16,300人以上				
				R2実績値	11,309人				

## 取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標数値	成果指標の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の達成度	進捗状況	
<b>川崎病院</b>									
① 地域医療連携の推進	資料1-5 13~14	①地域医療支援病院の継続 ②地域医療連携の会の開催 ③紹介元医療機関への返書等による情報交換の推進 ④病院・診療所等訪問の実施 ⑤PET-CT等検査機器の共同利用促進	地域医療支援病院の承認	R1実績値	継続	3	A 目標を大きく上回って達成	I. 順調に進捗	
				R2目標値	28年度承認				
				R2実績値	継続				
				紹介率	R1実績値	71.3%			1
				R2目標値	50.0%以上				
					R2実績値	71.7%			
				逆紹介率	R1実績値	92.5%			1
					R2目標値	70.0%以上			
					R2実績値	113.4%			
				検査機器の共同利用件数	R1実績値	817件			1
					R2目標値	500件以上			
					R2実績値	876件			
② 地域包括ケアシステムの推進	資料1-5 15~16	①「地域ケア懇談会」の実施 ②地域の医療従事者を対象とした症例検討会や勉強会の開催 ③多職種協働による地域連携の推進 ④退院時共同会議、介護支援連携会議の促進 ⑤地域の看護、介護従事者を対象とした研修会等の開催	地域ケア懇談会開催数	R1実績値	2回	3	D 目標を下回った		
				R2目標値	2回				
				R2実績値	2回				
				勉強会・症例検討会等への地域の医療・介護従事者等参加延数	R1実績値	670人			5
					R2目標値	900人以上			
					R2実績値	459人			
<b>井田病院</b>									
① 地域医療連携の推進	資料1-6 13~14	①地域の医療機関との連携を強化するため、クリニック訪問や意見交換・交流を目的とした地域連携の会を開催 ②地域の医療機関向けに外来診療表等を毎月送付及び、診療科の紹介冊子の作成 ③紹介状作成等について院内広報紙での周知や医師へのオリエンテーションの実施 ④地域の医療機関等を対象とした研修会の開催（地域連携相互交流学習会・認定看護師による出張講座・症例検討会等） ⑤退院前合同会議等による顔の見える関係作り	地域医療支援病院の承認	R1実績値	取組の継続	5	D 目標を下回った	III. 進捗が遅れている	
				R2目標値	29年度承認				
				R2実績値	取組の継続				
				紹介率	R1実績値	58.3%			1
					R2目標値	50.0%以上			
					R2実績値	57.5%			
				逆紹介率	R1実績値	57.8%			5
					R2目標値	70.0%以上			
					R2実績値	62.8%			
				検査機器の共同利用件数	R1実績値	265件			5
					R2目標値	800件以上			
					R2実績値	454件			
② 医療依存度の高い患者に対する在宅医療の提供	資料1-6 15~16	①がん末期、医療依存度の高い患者に対して、退院の時期を逸さないために、当院からの訪問診療導入のコンサルテーション機能の充実 ②症状悪化時の緊急往診の受入れだけでなく、家族に対するメンタルケアの充実 ③病棟看護師による退院前後訪問の推進 ④退院支援の充実	医療依存度が高い患者に対する往診患者実数	R1実績値	176人	5	B 目標を上回って達成		
				R2目標値	190人以上				
				R2実績値	169人				
				24時間連携登録医からの受入患者数	R1実績値	128人			1
					R2目標値	200人以上			
					R2実績値	233人			

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
<b>井田病院</b>									
③ 地域包括 ケア病床の整 備と運用	資料1-6 17~18	①地域包括ケア病床の充実 ②院外からの積極的な患者受入体制の構築 ③円滑な病床運営のための課題抽出及び対策 の検討 ④多職種による患者受入会議の定期的開催	地域包括 ケア病床 の整備	R1実績値	継続	3	・毎週火曜日に、多職種による地域包括ケア病棟受入会議を実施し、院内外からの受入患者の調整を実施しながら病床運用を行っています。今後も効率的な病床運用を行っていきます。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で病床利用率は伸び悩み、目標を大きく下回りましたが、一般病棟から早期に患者を受け入れた結果、リハビリテーションや退院調整支援を充実させることができました。	D 目標を下 回った	Ⅲ. 進捗が遅 れている
				R2目標値	28年度整備				
				R2実績値	継続				
			地域包括 ケア病床の 病床利用率	R1実績値	82.8%	5			
				R2目標値	85.0%以上				
				R2実績値	73.5%				
<b>多摩病院</b>									
① 地域医療 支援病院の運 営と強化	資料1-7 11~12	①登録紹介医制度の推進 ②検査機器等の共同利用の推進	紹介率	R1実績値	72.2%	1	・成果指標未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の流行による影響が大きいと考えられます。 ・登録紹介医制度の推進については、川崎市医師会・歯科医師会と基本協定書を締結した医師を登録紹介医とし、緊密な連携を構築するよう活動しています。今年度は新規開業医とともに、多摩区歯科医師会所属の歯科医師も全員が紹介医として登録され、登録紹介医は475名となりました。 ・紹介率、逆紹介率は目標値を大きく上回りました。 ・検査機器等の共同利用は、コロナ禍ですべての高額医療機器の利用が減少し、特に11月の院内クラスター発生により、緊急性のある検査を除き、新規検査の受入れを制限したこともあり、目標値を下回りました。 ・結果、検査機器の共同利用件数は目標値を下回りましたが、紹介率・逆紹介率は目標値を大きく上回ったため、達成度は「B」としました。 ・今後も、登録紹介医制度の推進・検査機器等の共同利用を推進していきます。	B 目標を上 回って達 成	Ⅰ. 順調に進 捗
				R2目標値	65.0%以上				
				R2実績値	71.9%				
			逆紹介率	R1実績値	58.8%	1			
				R2目標値	40.0%以上				
				R2実績値	65.9%				
			検査機器の共同 利用件数	R1実績値	4,180件	5			
				R2目標値	4,750件以上				
				R2実績値	3,122件				
② 地域包括 ケアシステム の推進	資料1-7 13~14	①在宅療養を支援するため、地域の訪問看護 ステーション等と意見交換を行う「多摩区・ 病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す 会」の充実 ②地域医師会との懇親会の定期開催	地域関係施設との 連絡調整会議への 参加回数	R1実績値	21回	1	・標記会議等は、新型コロナウイルス感染症の感染予防を念頭に置き、実施しています。 ・地域関係施設との連絡調整会議は中止となるケースも見受けられましたが、リモート会議に切り替え、実施に漕ぎつけたものもあり、目標値を達成できております。一方で、参加人数が多く有識者を参集しての連携会議である「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」は、開催を見送らざるを得ませんでした。なお、地域医師会との懇談会は、蜜を避けるため6月に多摩市民館・大ホールをお借りして開催しており、達成度は「C」としました。 ・今後も、リモート会議のメリットを活かし、そのノウハウを定着させ、地域包括ケアシステムの推進に向け、多分野にわたる連携会議を積極的に開催し、参加していきます。	C ほぼ目標 とあり	
				R2目標値	8回				
				R2実績値	10回				
			有識者を参集して 行われた連携会議 等の回数	R1実績値	6回	5			
				R2目標値	6回				
				R2実績値	0回				

## 取組項目(5) その他医療提供体制の強化

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
<b>川崎病院</b>								
① 精神科救急医療の強化	資料1-5 17~18	①県精神科救急体制に対応するための県応需病床2床の円滑な運営 ②救急応需に必要な精神保健指定医の確保、精神保健福祉士の維持 ③総合病院精神科の役割として精神疾患を有する身体合併症患者の受入れの実施（病病連携、病診連携、院内他科連携）	精神科救急患者受入数（三次及び二次のみ）	R1実績値 17人	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神科救急患者受入数については、4県市協調体制の精神科救急システムを経由した入院であるため、当院のみでコントロールができるものではありませんが、前年より11人増加し、目標値をほぼ達成しました。</li> <li>今後も患者の受入れが円滑にできるよう運用を続け、病病連携の促進、県精神科救急体制との調整等を進めていきます。</li> <li>精神科救急応需病床における平均在院日数は、精神疾患を有する身体合併症、発達障害、知的障害、認知症等患者の後方移送が進んだことなどから、令和元年度と比較して約1日減少しましたが、目標は達成できませんでした</li> <li>神奈川県精神科救急医療システムの中で、基幹病院としての役割を果たすため、医療人材の安定的な確保等に取り組み、精神疾患を有する身体合併症患者の受入れを実施しています。</li> <li>今後も、救急体制が円滑に構築できるよう、県及び他政令指定都市への協力を継続していきます。</li> </ul>	D 目標を下回った	II. 一定の進捗がある
				R2目標値 29人以上				
				R2実績値 28人				
			精神科救急応需病床(2床)における平均在院日数	R1実績値 20.7日	5			
				R2目標値 17.0日以下				
				R2実績値 19.6日				
② 感染症医療の確保	資料1-5 19~20	①川崎市新型インフルエンザ等対策検討委員会への参加による診療体制確保及び周辺医療機関との役割分担の確認 ②検疫所との合同患者受入訓練実施による対応方法強化、個人防護具の着脱訓練、及び感染対策や管理に従事する職員の育成	保健所からの要請に基づく二類感染症患者入院要請応需率（結核患者を除く）	R1実績値 100%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後発生する可能性のある新型インフルエンザに対応するため、川崎市新型インフルエンザ等対策検討委員会に参加しました。</li> <li>神奈川県・空港検疫所・川崎市からの新型コロナウイルス感染症陽性者の入院受け入れ要請に積極的に対応し、陽性者313名、疑い患者78名、合計391名の患者の受け入れを行いました。</li> <li>市内療養型施設での新型コロナウイルス感染症対策指導を12件実施しました。</li> <li>クラスターが発生した医療機関・介護施設等に対して、川崎市保健所とともに介入・指導を実施しました。</li> <li>検疫所との合同患者受入訓練は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で実施できませんでした。また、個人防護服着脱の訓練については各診療科で実施し、感染対策や管理に従事する職員に対して職場OJTなどによる研修を行いました。</li> </ul>	A 目標を大きく上回って達成	
				R2目標値 100%				
				R2実績値 100%				
③ リハビリテーション機能の強化	資料1-5 21~22	①新規採用職員の育成 ②病棟との連携強化 ③病棟でのリハビリテーションの拡充 ④早期離床の推進	自宅等に退院した患者の割合（一般病床）	R1実績値 95.2%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリテーション実施単位数は、新規採用職員の適正な育成、院内での連携強化に取り組んだ結果、目標値を大きく上回って達成しました。</li> <li>令和2年度から新人職員教育マニュアルを作成し運用を開始しました、新人職員には先輩職員2名を指導担当をつけて臨時的思考、技術の養成を行いました。</li> <li>早期離床の推進について、ICUや新型コロナウイルス感染症患者受入病棟を中心に、一般病床に転床後も継続してリハビリテーションが受けられるよう、実施体制の拡充を行いました。</li> <li>「川崎病院医療機能再編整備基本計画」（平成30年3月）に基づき、新規採用職員の育成、院内での連携強化、病棟リハビリテーション医療等を積極的に推進していきます。</li> </ul>	B 目標を上回って達成	
				R2目標値 95.4%以上				
				R2実績値 93.3%				
			リハビリテーション実施単位数	R1実績値 73,466単位	1			
				R2目標値 89,000単位以上				
				R2実績値 101,132単位				
④ 医療機能再編整備の推進	資料1-5 23~24	①機能再編推進委員会を適宜開催 ②エネルギーサービス事業により、エネルギー棟・給水ポンプ棟増築の設計完了、工事着手 ③救命救急センター棟増築・既存棟改修の設計の実施	-	R1実績値 -	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>「川崎病院医療機能再編整備基本計画」（平成30年3月）に基づき、適切に事業を実施するため必要な課題の整理等を行い、各設計の作成に取り組みました。また検討等にあたっては、機能再編推進委員会を5、7、9、12、3月に開催し、改修対象診療科等にヒアリングを実施するなど、院内の意見集約等を行いました。今後も引き続き機能再編推進委員会を開催し、情報の共有及び課題の整理検討について進めていきます。</li> <li>エネルギーサービス事業については、基本・実施設計を行い、令和3年2月に工事に着手しました。今後は給水ポンプ棟の建設工事に着手していきます。</li> <li>救命救急センター棟増築については基本設計に着手し、既存棟改修についても実施設計に着手しました。今後は工事に向けて、引き続き設計を進めていきます。</li> </ul>	C ほぼ目標どおり	
				R2目標値 -				
				R2実績値 -				
<b>井田病院</b>								
○ 井田病院再編整備事業の推進	資料1-6 19~20	病院敷地内の広場整備工事等の実施	再編整備事業（3期工事）の推進	R1実績値 -	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度内に病院敷地内の広場整備工事を完了予定であったが、完了せず、令和3年度も引き続き実施することとなった。</li> </ul>	D 目標を下回った	III. 進捗が遅れている
				R2目標値 29年度工事完了				
				R2実績値 -				
			斜面防護工事の実施	R1実績値 工事完了	-			
				R2目標値 30年度工事完了				
				R2実績値 -				

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
川崎病院									
① 医療従事者の確保	資料1-5 25~26	質の高い医療・看護を安定的に提供していくため優秀な医療人材の安定確保を行っていく ①採用選考の適切な実施による、優秀な臨床研修医、専攻医の確保 ②大学医局等との連携による、常勤医の円滑な採用 ③看護師確保のための学校訪問やインターンシップ、助産師・看護師・その他医療技術職の学生実習の受入等の実施 ④医療事務職採用による専門能力の向上	職場に対する総合的な職員満足度〔職員満足度調査〕	R1実績値	31.3%	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい勤務環境の中でも、総合的な職員満足度は前年度と比較してわずかに改善しましたが、目標値を達成できませんでした。職種別では医師の満足度が昨年度と比較して17%上昇していますが医療技術職は8%下落しました。例年満足度が低い看護職は0.7%の微増でした。</li> <li>・レセプト査定率は、医療事務職による診療報酬請求事務の管理のもと、適切なレセプト点検を実施し、目標値を達成しました。今後も、精度の高いレセプト点検を継続し、査定率の向上に努めていきます。</li> <li>・採用選考の適切な実施による、優秀な研修医の確保について、臨床研修医の採用選考には73件に申し込みがあり、申込件数は昨年度と比較して20件増加しました。</li> <li>・大学医局等との連携により、常勤医師の採用や実習の受入れ等を適切に行いました。</li> <li>・看護師確保のための学校訪問やインターンシップ、学生実習の受入等については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で中止しましたが、病院見学会は感染対策を万全に行い、引き続き実施しました。</li> <li>・医療事務職については、前年度と比較して1名増員し4名在籍しています。</li> </ul>	C ほぼ目標とあり	III. 進捗が遅れている
				R2目標値	45.0%以上				
				R2実績値	32.1%				
			レセプト査定率	R1実績値	0.33%	1			
				R2目標値	0.40%				
				R2実績値	0.30%				
② 職員の専門能力の向上	資料1-5 27~28	①在職医師への臨床研修指導医講習会受講の推進 ②地域包括ケアシステムに参画できる認定看護師の育成 ③各種医療技術職員向け研修受講の推進・支援 ④看護師の特定行為研修の受講による専門的な知識及び技能の向上	職場が「人材育成や能力開発に積極的である」と思う職員の割合〔職員満足度調査〕	R1実績値	48.6%	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修指導医講習会は、受講料を当院が負担し受講を推進しており、今後も積極的な受講促進を行っていきます。</li> <li>・初期臨床研修医10名に対し各科マンツーマン方式での指導体制をとっており、臨床医としての基礎的臨床能力の養成に努めました。</li> <li>・今年度は、2名の認定看護師が特定行為研修を受講し、研修終了後に各部署の中で活動を始めました。今後も認定看護師及び特定行為研修の受講を推進していきます。</li> <li>・その他の職員についても、院内研修会や看護協会、各種学会等が開催する研修会へ参加し、専門職としての能力の向上に努めました。</li> <li>・今後も医療のニーズに合わせた専門的知識や技術を持った看護師を育成するとともに、質の高い看護の提供に努めていきます。</li> </ul>	C ほぼ目標とあり	
				R2目標値	60.0%以上				
				R2実績値	48.9%				
			認定看護師の人数 ※( )内は井田病院との合計	R1実績値	33(49)名	1			
				R2目標値	27(47)名				
				R2実績値	31(50)名				
			研修医1人あたりの指導医数	R1実績値	3.3名	3			
				R2目標値	3.2名				
				R2実績値	3.2名				
③ 働きやすい職場づくり	資料1-5 29~30	①働き方改革推進委員会によるワーク・ライフ・バランスを実現する働く環境の整備 ②医師事務作業補助者拡充による医師等の業務負担の軽減 ③子育て支援や会計年度任用職員等の活用など、多様な働き方の推進	「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合〔職員満足度調査〕	R1実績値	37.5%	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標については医師、医療技術職員、事務職で目標値を達成しました。目標値に届かなかった看護職も昨年度に比べて3.8%上昇しており、徐々にですが数値は改善しています。</li> <li>・医師事務作業補助者の募集については、ハローワークやホームページ、院内ポスターで募集情報の掲示等に取り組んだ結果、令和2年度は前年度と比較して2名増員しました。</li> <li>・医師事務作業補助者の活用については、定期的な面談の実施や診療科との調整により、適性を見極めた効率的な人員配置を行うなど、医師の業務負担の軽減に取り組みました。</li> <li>・今後の医師事務作業補助者配置については、病棟や外来へ拡充していく予定ですが、機能評価係数Iの増収分と人件費を考慮しながら検討していきます。</li> </ul>	D 目標を下回った	
				R2目標値	45.0%以上				
				R2実績値	40.8%				

## 取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
井田病院									
① 医療従事者の確保	資料1-6 21~22	①採用選考の適切な実施による優秀な初期臨床研修医、専攻医の確保 ②大学医局等との連携による常勤医の確保 ③看護師確保のための学校訪問やインターンシップ、看護師等医療技術職の学生実習の受入 ④院外における就職説明会・学校訪問の積極的な参加 ⑤医療事務職の活用やDPC制度運用講座の開催による診療報酬請求事務の強化及び専門能力の向上	職場に対する総合的な職員満足度 〔職員満足度調査〕	R1実績値	32.2%	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場に対する総合的な職員満足度は、職種別では看護師の満足度が他の職種より低く、「人員は充足している」「業務量や忙しさに偏りが無い」等の項目において低い調査結果となっています。</li> <li>・初期臨床研修医採用選考試験の実施（受験者：25人 採用人数：5人）により、職員の確保に努めました。</li> <li>・医療事務職は今年度1名増員し、4名が在籍しています。</li> <li>・全職員を対象としたDPC分析・診療報酬勉強会を年2回開催し、職員の知識の向上に努めました。</li> <li>・レセプト査定率は、昨年度に比べ改善しましたが、目標の達成には至りませんでした。井田病院の患者層の大多数は高齢者であることから、複数の疾患を有し、複合した診療が必要となるため、査定率が上昇する傾向があると考えられます。今後も査定減に関する取組として、保険委員会等で算定ルール等の周知を行うとともに、各診療科の状況に合わせた取組を進めてまいります。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、インターンシップは全て中止しました。学生実習の受け入れについては、感染対策を実施した上で1月から3校受け入れました。</li> <li>・院外における就職説明会の積極的な参加については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を理由として会場等での開催は計20回中止となりましたが、オンライン開催への変更や追加出展などにより、年間で8回参加しました。</li> <li>・学校訪問は、例年80校訪問していますが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、20校の訪問を予定しました。しかし、実際の訪問は1校でした。そのため、例年訪問する学校には、パンフレットを郵送し、卒業生がいる学校には、新人看護師の近況「笑顔だより」も送付しました。</li> </ul>	E 目標を大きく下回った	IV. 進捗が大幅に遅れている
				R2目標値	50.0%以上				
				R2実績値	36.0%				
			レセプト査定率	R1実績値	0.38%	5			
				R2目標値	0.13%				
				R2実績値	0.19%				
② 職員の専門能力の向上	資料1-6 23~24	①認定看護師の育成及び特定行為研修（在宅ケアプラン）への派遣 ②在職医師へ臨床研修指導医講習会受講の奨励	職場が「人材育成や能力開発に積極的である」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	R1実績値	47.8%	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成計画に基づき認定看護師の派遣を毎年実施し、今年度は新たに1名が認定看護師の資格を取得しました。令和3年度は1名の研修受講を予定しています。</li> <li>・特定行為研修修了者は4名が在籍しており、令和2年度はさらに2名が研修を修了しました。</li> <li>・指導医を確保するため、引き続き若手医師を中心に臨床研修指導者講習会の受講を推進していきます。</li> </ul>	D 目標を下回った	IV. 進捗が大幅に遅れている
				R2目標値	56.0%以上				
				R2実績値	53.1%				
			認定看護師の人数 ※( )内は川崎病院との合計	R1実績値	16(49)名	3			
				R2目標値	20(47)名				
				R2実績値	19(50)名				
			研修医1人あたりの指導医数	R1実績値	4.0名	5			
				R2目標値	4.9名				
				R2実績値	3.8名				
③ 働きやすい職場づくり	資料1-6 25~26	①医師事務作業補助者の増員によるタスクシフトを積極的に推進 ②会計年度任用職員の任用などによる退職や産休・育休等に伴う欠員の減少	「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	R1実績値	38.6%	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革推進委員会を開催し、医師及び看護職員の負担軽減や他職種とのタスクシェアリング等について当該年度の計画に対する評価及び次年度の計画を策定しました。</li> <li>・医師の事務作業量の軽減を図るため、医師事務作業補助者の採用を積極的に行い、採用人数は昨年度の16名から6名増員し、22名となっています。引き続き医師事務作業補助者の募集、採用を積極的に行い、業務内容の拡充、業務範囲の拡大を通じて必要な体制確保を目指していきます。</li> <li>・会計年度任用職員の採用については、ハローワークやホームページ、各種広告媒体を活用して確保に努めています。</li> </ul>	D 目標を下回った	IV. 進捗が大幅に遅れている
				R2目標値	50.0%以上				
				R2実績値	46.8%				

## 取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
<b>多摩病院</b>									
① 医療従事者の確保	資料1-7 15~16	①病院実習生の受入れ ②病院見学・インターンシップの受入れ	基幹型臨床研修医の受入れ	R1実績値	10名	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹型臨床研修医は、前年度同様、定員10人のフルマッチとなっています。</li> <li>医師事務作業補助者は、前年度実績同様の17人となり、新型コロナウイルス感染症対応病床の確保もあって、医師事務作業補助体制加算は20対1を算定しています。</li> <li>実習生等への対応については、新型コロナウイルス感染症の流行が大きく影響しています。</li> <li>病院実習生（看護）の受入れは7施設（前年度14施設）、79人（前年度281人）となりました。</li> <li>看護師の採用活動である学校訪問は控え（前年度4校）、合同説明会参加をwebにて1回（前年度6回）、多摩病院における病院説明会を5回（前年度17回）実施しました。また、看護師志望者の病院見学は38人（前年度36人）、インターンシップは38人（前年度75人）、それぞれ受入れています。</li> <li>看護師採用試験は9回（前年度21回）実施しました。</li> <li>職員の要望や苦情等を抽出、改善し、親睦を図るためのレクリエーション等を企画していましたが、多摩市民館・大ホールでの教職員への慰労会を行うにともな、コロナ禍のため自粛しております。</li> <li>結果、基幹型臨床研修医の受入れ人数、及び医師事務作業補助者の人数がともに目標値を上回ったため、達成度は「A」としました。</li> <li>今後も、基幹型臨床研修医の受入れ、医師事務作業補助者の増員を進めていきます。</li> </ul>	A 目標を大きく上 回って達成	I. 順調に進 捗
				R2目標値	8名				
				R2実績値	10名				
			医師事務作業補助者の人数	R1実績値	17名	1			
				R2目標値	10名				
				R2実績値	17名				
② 職員の専門能力の向上	資料1-7 17~18	①認定看護師取得のためのサポート ②診療情報管理士の安定的な確保	認定看護師 の人数	R1実績値	10名	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定看護師は前年度実績同様の10名です。また、専門看護師（家族支援分野）1名も勤務しています。</li> <li>診療情報管理士は、前年度比で1名減となったものの、退院患者数の減もあって引き続き「診療録管理体制加算1」を算定しています。</li> <li>結果、認定看護師、診療情報管理士の人数は目標を上回りましたので、達成度は「A」としました。</li> <li>今後も、認定看護師、及び診療情報管理士の増員を進めていきます。</li> </ul>	A 目標を大きく上 回って達成	I. 順調に進 捗
				R2目標値	9名				
				R2実績値	10名				
			診療情報管理士 の人数	R1実績値	16名	2			
				R2目標値	14名				
				R2実績値	15名				

## 取組項目(2) 医療安全の確保・向上

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
<b>川崎病院</b>								
○ 医療安全・院内感染対策の推進	資料1-5 31~32	①インシデントレポートおよび定期的な院内巡回により、各部門の医療安全管理の状況を把握、分析 ②医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進 ③医療安全対策に係る職員研修を企画・実施 ④院内感染対策への取組みとして、サーベイランスの実施、アウトブレイクの早期発見、ICT介入による早期終息 ⑤感染対策部会のリンクスタッフらによる手指衛生の向上に向けた取組の推進 ⑥院内感染対策講習会として、全職員向けに複数回の研修会を開催	体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	R1実績値	届出(継続)	3	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R2目標値	届出(継続)			
				R2実績値	届出(継続)			
<b>井田病院</b>								
○ 医療安全・院内感染対策の推進	資料1-6 27~28	①医療事故防止対策・感染防止対策を推進し医療の質を確保 ②施設基準「医療安全対策加算1」、「感染防止対策加算1」、「抗菌薬適正使用支援加算」の届出継続を維持 ③医療安全対策・感染対策について、職員向け研修会の開催	体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	R1実績値	届出(継続)	3	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R2目標値	届出(継続)			
				R2実績値	届出(継続)			
<b>多摩病院</b>								
○ 医療安全の強化	資料1-7 19~20	①医療事故の防止及び迅速な対応 ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置 ③感染対策の十分な経験を有する医師・看護師等の配置 ④感染制御チームによる活動の推進	体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	R1実績値	届出(継続)	3	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R2目標値	届出(継続)			
				R2実績値	届出(継続)			

## 取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
<b>川崎病院</b>									
○ 積極的な情報発信と相談体制の強化	資料1-5 33~34	①Wi-Fi設備の追加整備 ②訪日外国人旅行者受入れ医療機関としての施設の整備 ③外来モニターによるコンテンツの充実及び患者サービスの向上 ④ホームページやデジタルサイネージによる患者への情報発信 ⑤がん相談支援センターによる相談・情報提供体制の強化・推進 ⑥入院センターの開設による入院前からの患者支援体制の強化	入院患者満足度	R1実績値	90.1%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした面会制限への対応として、必要な病棟にWi-Fi整備を行う予定でしたが、工事業者との調整がつかず、整備はできませんでした。令和3年度は感染症病棟や救命救急センター病棟、産科病棟へ整備の予定です。</li> <li>電話医療通訳サービスの継続的な提供や双方向通訳デバイス（ポケット）の追加導入するなど、外国人対応医療機関として環境整備を進めました。</li> <li>国立がん研究センター発行の部位別のがんに関するパンフレット等を配架するなど、患者さんへの適切な情報提供に努めました。</li> <li>リハビリテーション科によるフレイル予防の動画を作成しデジタルサイネージに掲載しました。</li> <li>入院患者満足度については課題である「快適性」の向上のため、改修工事やレイアウト変更により清潔かつ快適にシャワー室を使用できるよう改善しました。また、清掃業者への適切な指導として清掃の頻度や巡回点検を強化し、清潔維持に努めました。</li> <li>外来患者満足度については、外来患者を地域の医療機関へ紹介することで外来患者が減少し、課題である外来待ち時間は少しずつ減少傾向にあります。また待ち時間を長く感じさせないための対策としてスマートフォンアプリを、令和2年度は全診療科に拡大しました。今後、総合案内に看護職員を配置し、来院者の案内や誘導を行いホスピタリティの向上を目指します。</li> </ul>	D 目標を下回った	Ⅲ. 進捗が遅れている
				R2目標値	89.3%以上				
				R2実績値	88.4%				
			外来患者満足度	R1実績値	68.0%	5			
				R2目標値	81.7%以上				
				R2実績値	69.3%				
<b>井田病院</b>									
○ 市民に信頼される医療の提供と分かりやすい情報の発信	資料1-6 29~30	①市民公開講座や町内会など地域における医療に関する出前講座の開催 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大による病院モニター会議の開催中止に伴う今後の方向性の検討 ③外来休診情報の公開などホームページを活用した患者さんへの積極的な情報発信	入院患者満足度	R1実績値	93.1%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な病気に関わるテーマを専門の医師等がわかりやすく解説する「市民公開講座」は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでした。また、地域の医療機関や企業等へ出向き新型コロナウイルス感染症への様々な対策を解説する「出張講座」について、令和2年度は8回開催しました。</li> <li>病院に対する御意見・御要望を広く聴取し、病院運営や患者サービス等に反映させることを目的とした第4期の病院モニター会議は、2回の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で中止となりました。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、時期を改めて第5期川崎市立井田病院モニター会議の開催について検討していきます。</li> <li>ホームページに新型コロナウイルス感染症関連の専用ページを作成し、積極的な情報発信を行いました。</li> </ul>	C ほぼ目標どおり	Ⅱ. 一定の進捗がある
				R2目標値	91.3%以上				
				R2実績値	89.6%				
			外来患者満足度	R1実績値	84.4%	3			
				R2目標値	82.6%以上				
				R2実績値	85.2%				
<b>多摩病院</b>									
○ 分かりやすい情報提供と利用しやすい施設の強化	資料1-7 21~22	①医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化 ②ホームページの内容の充実 ③市民健康講座の開催	入院患者満足度	R1実績値	86.4%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の流行による影響が大きく、満足度調査は年1回の実施にとどめましたが、入院、外来患者満足度ともに前年度、目標値をそれぞれ上回ったため、達成度を「C」としました。</li> <li>ホームページのリニューアルに向け、粛々と作業を進めています。</li> <li>市民健康講座は新型コロナウイルス感染症の感染予防を念頭に置き、会場に来ていただく形式から、web配信に切り替えました。開催回数は、前年度の6回から3回と減少していますが、前年度の参加者数（366人）と比較して、web配信では延べ数で3,549件のアクセスをいただいています。</li> <li>今後も、入院、及び外来患者満足度調査を継続し、市民の声に responding していきます。</li> </ul>	C ほぼ目標どおり	Ⅱ. 一定の進捗がある
				R2目標値	89.3%以上				
				R2実績値	90.0%				
			外来患者満足度	R1実績値	79.1%	3			
				R2目標値	81.7%以上				
				R2実績値	85.6%				

## 取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況	
<b>川崎病院</b>									
-	資料1-5 35~36	①午前退院・午後入院の促進、診療科を超えた柔軟な病床管理、増大する救急やがん等の医療需要への積極的な対応など、入院患者数の増加、病床稼働率の向上等の取組の推進 ②未収金対策として、文書催告・電話催告、入退院時面談の実施強化	医業収益の額	R1実績値	176.1億円	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医業収益については昨年度と比較して減少しました。患者1人1日当たりの診療収入が昨年度と比較して増加しているものの、入院患者数及び外来患者数の減少が影響しているものと考えられます。</li> <li>・患者1人1日当たりの診療収入については、昨年度と比較して増加しました。特に入院単価が新たな施設基準の取得や、新型コロナウイルス感染症患者への対応等により上昇しました。今後も診療報酬の適正な算定に努めていきます。</li> <li>・発生した未収金については原則2週間以内に電話催告、文書催告を行い、3か月間支払がない場合、弁護士に委託しました。</li> <li>・病床利用については看護部及び各診療科が協働して午前退院・午後入院を促進し、効率的な病床運用に努めました。新型コロナウイルス感染症患者の受入れのため一般病床の休床を行い、看護師の確保を行ったため、目標値を達成できませんでした。</li> <li>・無菌室の設置に伴い有償個室が減少したため、効率的な病床運用に資する個室の在り方について、今後検討していきます。</li> </ul>	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R2目標値	179.8億円以上				
				R2実績値	165.7億円				
			入院患者1人1日 当たり診療収入 (入院診療単価)	R1実績値	64,897円	1			
				R2目標値	60,358円以上				
				R2実績値	69,805円				
			外来患者1人1日 当たり診療収入 (外来診療単価)	R1実績値	15,294円	1			
				R2目標値	12,586円以上				
				R2実績値	16,206円				
			病床利用率	R1実績値	67.4%	5			
				R2目標値	76.5%以上				
				R2実績値	65.4%				
<b>井田病院</b>									
-	資料1-6 31~32	①目標管理制度の活用による定期的な診療収入増加に向けた取組状況の確認 ②入院診療単価を引き上げるために、要手術患者の入院増加、平均在院日数の短縮 ③弁護士を活用した滞納債権回収の強化 ④午前退院・午後入院の促進など適切なベッドコントロールの実施及び地域包括・一般床・緩和・救急後方の各病棟における適正なベッド管理	医業収益の額	R1実績値	85.9億円	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科毎に稼働額の目標値を設定し、収益の確保に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外来及び入院診療の一部制限を行った影響もあり、令和2年度実績値では前年度と比較して、外来では4.5%、入院では13%収益が減少しました。</li> <li>・入院収益では、新たな加算の取得により診療単価は増加しましたが、延患者数の減少に伴い、DPC収入、出来高収入ともに前年度に比べて大幅に減少しています。</li> <li>・外来収益では、延べ患者数は昨年度に比べ減少していますが、薬剤収入の増加に伴い診療単価が増加しており、収益減は4.5%に抑えられています。</li> <li>・未収金対策は、川崎市債権対策実施要綱に基づき、未収発生から早期の段階で電話催告または文書催告を実施してきめ細かい対応を行っています。さらに弁護士を活用することにより効率的に滞納債権の回収に取り組んでいます。今後も医療費滞納者に対する債権回収強化に努めていきます。</li> </ul>	D 目標を下 回った	III. 進捗が遅 れている
				R2目標値	90.9億円以上				
				R2実績値	77.7億円				
			入院患者1人1日 当たり診療収入 (入院診療単価)	R1実績値	46,387円	3			
				R2目標値	48,613円以上				
				R2実績値	48,766円				
			外来患者1人1日 当たり診療収入 (外来診療単価)	R1実績値	17,626円	1			
				R2目標値	14,607円以上				
				R2実績値	19,010円				
			病床利用率	R1実績値	80.2%	5			
				R2目標値	87.2%以上				
				R2実績値	66.2%				
<b>多摩病院</b>									
-	資料1-7 23~24	①医療機能の充実・強化による診療収益の確保 ②精度の高い診療報酬請求 ③未収金督促・催告の強化	医業収益の額	R1実績値	96.1億円	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標未達成の要因として、今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受入れ医療機関として対応しており、年度後半には、院内でのクラスター発生、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請等があったことによる影響が大きいと考えられます。</li> <li>・医業収益は前年度実績、目標値とも大幅に下回りました。延患者数、手術件数とも減少する反面、診療が不可欠な患者の来院、入院により診療単価が前年度実績、目標値を大きく上回っています。</li> <li>・精度の高い診療報酬請求は、レセプト委員会（医事課主催）を定期的に開催し査定・返戻の状況を事例共有し、診療科ごとに発表、検討を行っています。</li> <li>・未収金督促、催告の強化は、電話や文書による督促に加え、未収金予防策として、ソーシャルワーカーや医事課職員の早期介入を行っています。（コロナ関連の公費手続の調整に時間を要したため、電話催促の件数が目標値を下回っています。）</li> <li>・結果、入院及び外来診療単価が増加となる反面、病床利用率、医業収益は目標値を下回る結果となったため、達成度を「C」としました。</li> <li>・コロナ禍とは異なりますが、今後も、診療収益の確保ならびに未収金督促の強化について取り組んでいきます。</li> </ul>	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R2目標値	89.7億円以上				
				R2実績値	82.6億円				
			入院患者1人1日 当たり診療収入 (入院診療単価)	R1実績値	57,355円	1			
				R2目標値	55,800円以上				
				R2実績値	64,616円				
			外来患者1人1日 当たり診療収入 (外来診療単価)	R1実績値	14,349円	1			
				R2目標値	11,700円以上				
				R2実績値	14,991円				
			病床利用率	R1実績値	83.0%	5			
				R2目標値	80.0%以上				
				R2実績値	64.9%				

## 取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の 達成度	進捗 状況
川崎病院									
-	資料1-5 37~38	①医療機器の購入にあたり、保守契約を含めた入札実施の検討・促進 ②医療機器保守契約の見直しによる委託料節減（MEセンターと協力） ③コンサルタント業者との連携による、材料費等の支出縮減に向けての取組	職員給与費対 医業収益比率	R1実績値	54.8%	5	・薬剤及び診療材料の価格交渉の実績がある業者とアドバイザー契約を結び、納入価格の引き下げに取り組みました。 ・医療機器の購入においても価格交渉を強化するとともに、保守契約を含めた入札を7件実施しました。今後も経営企画室契約担当と連携しながら対象案件の拡充を進め、委託料の縮減に取り組んでいきます。 ・医療機器の保守契約に係る次年度の予算要求にあたり、MEセンターや院内各所属の協力を得ながら保守内容の見直しを進め、委託料の抑制を図りました。今後も随時見直しを進めていく予定です。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により医業収益が大幅に減少したため、医業収益比率は悪化しましたが、委託料は令和元年度決算額より削減しました。	E 目標を大きく下 回った	Ⅲ. 進捗が遅 れている
				R2目標値	53.6%以下				
				R2実績値	60.9%				
			委託費対 医業収益比率	R1実績値	14.1%	5			
				R2目標値	12.8%以下				
				R2実績値	16.7%				
井田病院									
-	資料1-6 33~34	①各所属における医療機器保守業務委託の仕様見直し及び契約額の削減化 ②川崎病院との材料購入に関する情報交換・共同購入による経費節減の実施 ③無駄な在庫を持たないよう効率的な在庫管理を図り、経費節減の実施	職員給与費対 医業収益比率	R1実績値	60.7%	5	・診療材料の購入については、川崎病院との情報交換、ベンチマークシステムの活用等により、価格交渉の余地が見込める物品については、個別の価格交渉を行い、更なる値引き交渉に取り組んでいます。また、より安価な同等品の使用など、診療材料の見直しを行っています。 ・前年度に引き続き、年2回（8月及び2月）、SPD（院内物流管理受託業者）と共同で、倉庫から払い出し後の使用状況の実地検査を実施し、使用期限のチェックや、各所属への注意喚起を行っています。また、払出しの定数の見直しは、随時実施してまいります。 ・高額医療器械については、保守契約に加え、専用消耗品（試薬）についても合併入札を行い、競争による経費削減を図りました。 ・既存医療機器の次年度保守契約に向けて契約額を削減するため、低額保守プランへの変更、医療機器の耐用年数を踏まえ、より割引率が高くなる契約形態への移行等を実施しました。また、新規で保守契約を予定している医療機器についても、経費削減を目指し、引き続き各担当科と調整してまいります。	E 目標を大きく下 回った	Ⅳ. 進捗が大 幅に遅れ ている
				R2目標値	57.9%以下				
				R2実績値	69.6%				
			委託費対 医業収益比率	R1実績値	13.5%	5			
				R2目標値	14.2%以下				
				R2実績値	17.1%				
多摩病院									
-	資料1-7 25~26	①適正在庫管理 ②業務効率化による時間外勤務の縮減	職員給与費対 医業収益比率	R1実績値	52.7%	5	・適正在庫管理は、物流センターによる全部署の在庫見直しを前年度までの1回から、年2回（上期、下期）の実施とし、その他必要に応じて随時対応してまいります。 ・業務効率化による時間外勤務の縮減については、今年度より「医療従事者負担軽減委員会」において病院勤務医・看護師・コメディカルをはじめ病院スタッフの役割分担の推進・負担軽減・処遇改善に係る計画を評価、検討をしています。 ・時間外勤務の管理は、月前半での評価を部署ごとで把握し、改善するよう注意喚起をしています。 ・今後も、適正在庫管理ならびに業務効率化による時間外勤務の縮減の推進を実施してまいります。	E 目標を大きく下 回った	Ⅳ. 進捗が大 幅に遅れ ている
				R2目標値	53.1%以下				
				R2実績値	63.0%				
			委託費対 医業収益比率	R1実績値	14.2%	5			
				R2目標値	14.9%以下				
				R2実績値	17.4%				

## 取組項目(3) 経営管理体制の強化

取組項目	参考ページ	令和2年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標数値	成果指標の評価	評価の理由と今後の方向性	2年度の達成度	進捗状況	
川崎病院									
-	資料1-5 39~40	①経営会議による本計画の進捗管理の実施 ②病院幹部会議における病院経営状況等の報告 ③総合医療情報システムを用いた経営状況の周知 ④実現可能な施設基準取得への取組	「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	R1実績値	19.3%	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療科別目標管理制度を実施し、毎月の幹部会議（運営会議）において経営状況を確認しています。引き続き経営意識の醸成を図るとともに、「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合の向上に努めます。</li> <li>施設基準の取得等に係るワーキンググループの活動を定期的で開催し、新たな施設基準取得に向け課題を明確化し、取得可能な施設基準については届出を実施しました。</li> <li>総合医療情報システムを用いた経営状況の周知について、運営会議で周知した稼働に関する資料を電子カルテに掲載し、全職員がいつでも閲覧できるようにしています。</li> <li>機能評価係数Iに係る急性期看護補助体制加算看護補助者5割未満から5割以上へ変更し、医師事務作業補助体制加算2から加算1へ変更することで、それぞれ高い基準の届出を行いました。また総合入院体制加算2を6月に取得しました。</li> </ul>	C ほぼ目標とあり	II. 一定の進捗がある
				R2目標値	30.0%以上				
				R2実績値	17.8%				
			経営会議開催数	R1実績値	12回	1			
				R2目標値	10回以上				
				R2実績値	12回				
井田病院									
-	資料1-6 35~36	①全職員を対象とした病院の運営方針や経営に関する勉強会の開催 ②診療科等に対する経営に関するヒアリングの実施 ③井田病院経営戦略会議の定期開催	「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	R1実績値	22.4%	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初、全職員を対象に、病院長による「病院運営方針等説明会」を開催し、中期経営計画に基づく当該年度の病院としての重点取組項目（「がん診療の推進」「在宅療養支援の推進」「二次救急医療の体制強化」「地域医療連携の推進」「医療の質の向上」）のほか新型コロナウイルス感染症対策について周知を行いました。</li> <li>診療科やメディカルスタッフ部門等全41部署を対象とした病院長等幹部職員による経営等に関するヒアリングを実施しました。各部署においては、当該年度の行動目標及び行動計画を定め、取組を推進しました。</li> <li>病院局、川崎病院、井田病院を結ぶテレビ会議システムにより、会議運営を効果的に行いました。</li> <li>引き続きこれらの取組を通して経営意識の醸成を図り、「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合の向上に努めます。</li> </ul>	C ほぼ目標とあり	II. 一定の進捗がある
				R2目標値	40.0%以上				
				R2実績値	20.6%				
			経営会議開催数	R1実績値	12回	1			
				R2目標値	10回以上				
				R2実績値	12回				
多摩病院									
-	資料1-7 27~28	①幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知 ②経営戦略会議の開催	経営戦略会議開催数	R1実績値	12回	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知については、年11回開催（8月休会）している管理運営会議において周知しています。</li> <li>経営戦略会議では、病院の収支を共有し、改善へ向け検討しています。平成27年度以降年間12回開催しており、目標値を上回ったため、達成度を「B」としました。</li> </ul>	B 目標を上回って達成	I. 順調に進捗
				R2目標値	11回				
				R2実績値	12回				